

平成22年度 古典講読のシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	古典講読	単位数	2	履修学年・区分	3 学年 2 単位
使用する教科書	右文書院 新古典講読 説話・随筆・故事・小話・漢詩				
副教材等	なし				

2 学習目標

古典としての古文と漢文を読むことによって、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

3 学習方法

- ①教科書を繰り返し音読する。
- ②プリントを用いて読解を深める。
- ③作品のものの見方や感じ方, 考え方を話し合う。

4 学習計画

学期	月	学習内容 (単元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	4	古文 古今著聞集「母子猿」	①何度も繰り返し音読し, 古文のリズムに慣れる。 ②1, 2年次に学習した歴史的仮名遣いの特徴を再確認する。	①音読することによって, 古文のリズムに慣れ, 正しく読むことができたか。 ②歴史的仮名遣いの読み方が習得できているか。 プリントの提出
	5	沙石集「児の飴食ひたること」	①何度も繰り返し音読する。 ②古語辞典を利用して, 本文に適した意味を捉える。 ③係り結びを理解する。 ④話のあらすじを捉え, おもしろさを味わう。	①歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し, 正しく読むことができたか。 ②古語辞典の引き方を習得できたか。 ③係り結びが理解できたか。 ④本文を読み味わうことができたか。 プリントの提出
	6	十訓抄「文字一つの返し」	①何度も繰り返し音読する。 ②活用語は終止形に直し, 古語辞典を利用して, 本文に適した意味を捉える。 ③係り結びを理解する。 ④話のあらすじを捉え, おもしろさを味わう。	①歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し, 正しく読むことができたか。 ②活用語は終止形に直して, 的確に古語辞典を引くことができたか。 ③係り結びが習得できたか。 ④本文を読み味わうことができたか。 プリントの提出。
第2学期	9	徒然草「つれづれなるままに」	①出典について理解する。 ②暗唱するまで繰り返し音読する。 ③古語辞典を利用して, 正確な解釈をする。 ④『徒然草』執筆の動機や態度をまとめる。	①作品や作者について理解できたか。 ②暗唱できたか。 ③正確に解釈することができたか。 ④作品執筆の動機や態度が理解できたか。

2 学 期	10	徒然草「これも仁和寺の法師」	①何度も繰り返し音読する。 ②古語辞典を利用して、正確な解釈をする。 ③話のあらすじを捉え、おもしろさを味わう。	プリントの提出 ①正しく読むことができたか。 ②的確に古語辞典を引き、正確に解釈することができたか。 ③本文を読み味わうことができたか。 プリントの提出。
	11	枕草子「ありがたきもの」	①出典について理解する。 ②何度も繰り返し音読する。 ③古語辞典を利用して、正確な解釈をする。 ④枕草子の類聚的章段の特徴を理解する。	①作品や作者について理解できたか。 ②正しく読むことができたか。 ③的確に古語辞典を引き、正確に解釈することができたか。 ④類聚的章段の特徴を理解することができたか。 プリントの提出。
		方丈記「ゆく河の流れ」	①出典について理解する。 ②何度も繰り返し音読する。 ③古語辞典を利用して、正確な解釈をする。 ④対句を理解する。	①作品や作者について理解できたか。 ②正しく読むことができたか。 ③的確に古語辞典を引き、正確に解釈することができたか。 ④対句を理解できたか。 プリントの提出
	12	漢文 「蛭雪」 「守株」 「推敲」 「画竜点睛」	①返り点に注意して、訓読する。 ②書き下し文に直す。 ③解釈する。	①訓読することができたか。 ②書き下し文に直すことができたか。 ③語句の意味を確認しながら解釈することができたか。
第 3 学 期	1	「朝三暮四」 「蛇足」	①返り点に注意して、訓読する。 ②書き下し文に直す。 ③解釈する。	①訓読することができたか。 ②書き下し文に直すことができたか。 ③語句の意味を確認しながら解釈することができたか。 プリントの提出
	2			
	3			

5 学習評価

(1) 評価の観点及び内容について

以下に示す三つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

なお、学習計画に示された「評価のポイント」は三つの観点と結び付いた具体的な評価基準と考えます。

評価の観点及び内容	
1 授業・教材に対する「関心・意欲・態度」	教科書・ノートをきちんと用意し、ワークシート等のプリントを提出したか。
2 読解力・表現力	内容を理解することができたか。

3 漢字力・語彙力	古語や漢語の意味を捉えることができたか。
-----------	----------------------

- (2) 「評価の観点」の評価方法について
学習状況の観察・提出物・ノート・定期考査によって評価します。